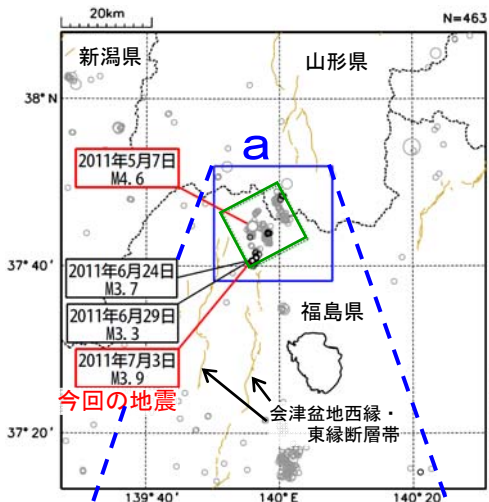


7月3日 福島県会津の地震

震央分布図

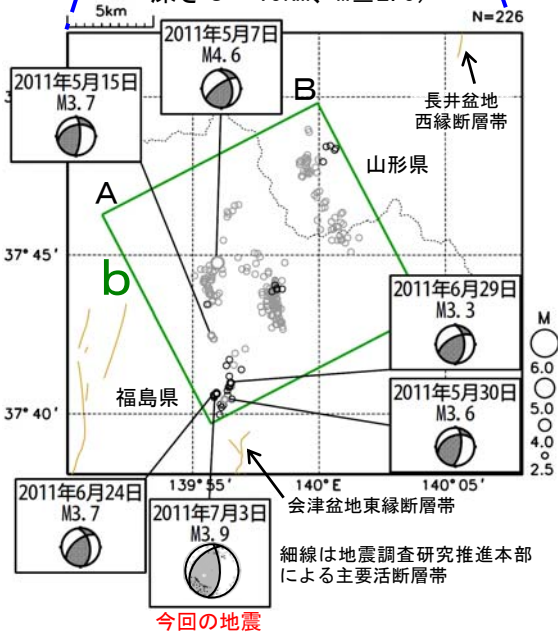
(1997年10月1日～2011年7月3日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.5$)

2011年6月以降の地震を濃く表示



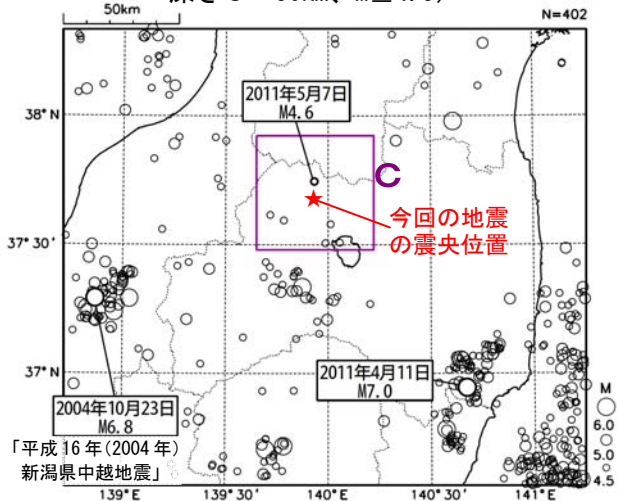
領域 a 内の拡大図

(2011年3月1日～2011年7月3日、
深さ0～15km、 $M \geq 2.5$)



震央分布図

(1923年8月1日～2011年7月3日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.5$)

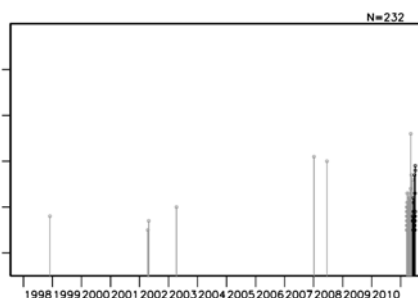


「平成16年(2004年)
新潟県中越地震」

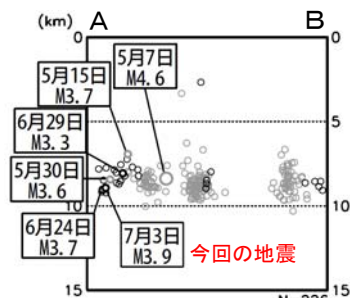
2011年7月3日02時11分に福島県会津の深さ9kmでM3.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震の震源付近(領域b)では、3月18日からM2.5を超える地震活動が発生しており、5月7日には深さ8kmでM4.6の地震(最大震度4)、6月24日には深さ9kmでM3.7の地震(最大震度3)も発生した。これらの地震は地殻内で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域a)では、M2.5以上の地震はあまり発生していなかった。

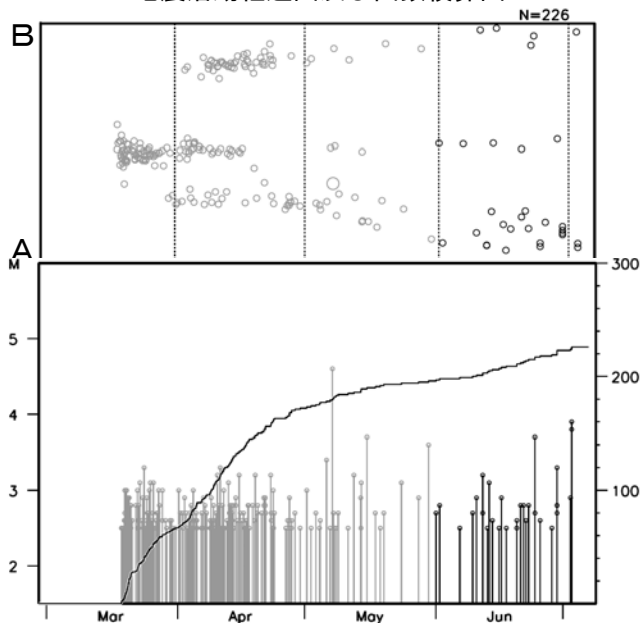
領域 a 内の地震活動経過図



領域 b 内の断面図 (A-B 投影)

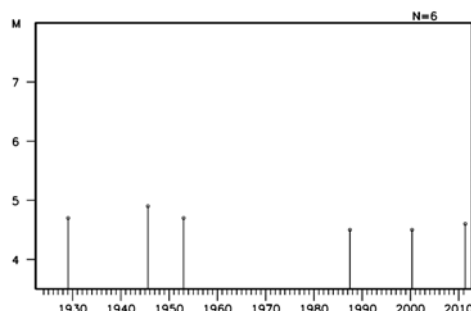


領域 b 内の時空間分布図 (A-B 投影)、 地震活動経過図及び回数積算図



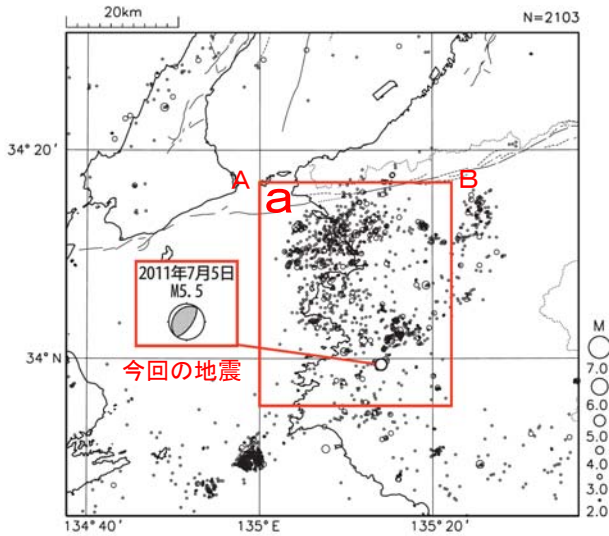
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M4.5以上の地震はあまり発生していなかった。

領域 c 内の地震活動経過図

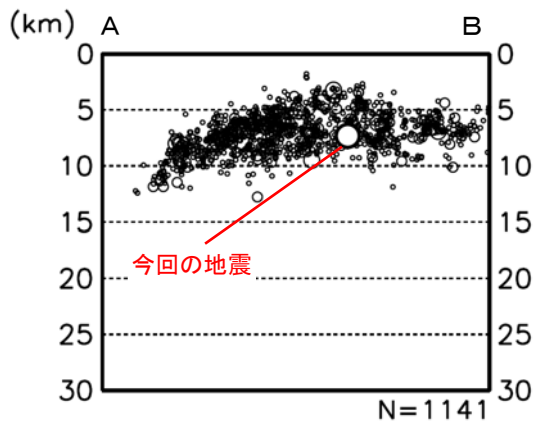


7月5日 和歌山県北部の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2011年7月6日、
深さ0~30km、 $M \geq 2.0$)
細線で地震調査研究推進本部による主要活断層を表示。



領域a内の断面図 (A-B投影)
(1997年10月1日~2011年7月6日)

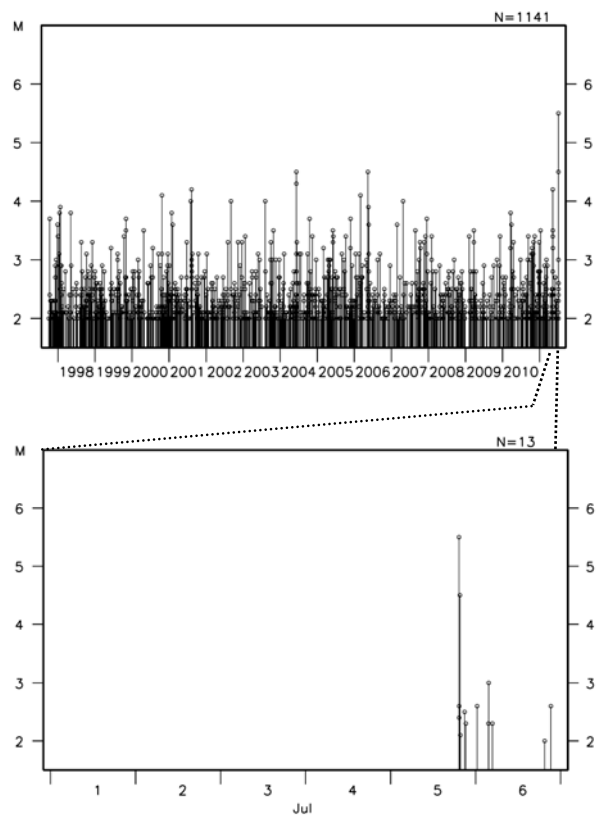


2011年7月5日19時18分に和歌山県北部の深さ7kmでM5.5の地震(最大震度5強)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は地殻内で発生した。

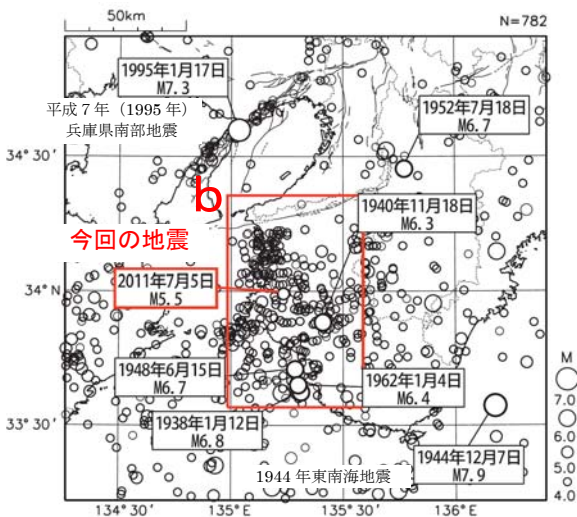
この地震で住家一部破損が9棟などの被害が発生している(総務省消防庁による)。7月6日現在、震度1以上を観測する余震は6回発生している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M5.0以上の地震は発生していなかった。

領域a内の地震活動経過図
(1997年10月1日~2011年7月6日)

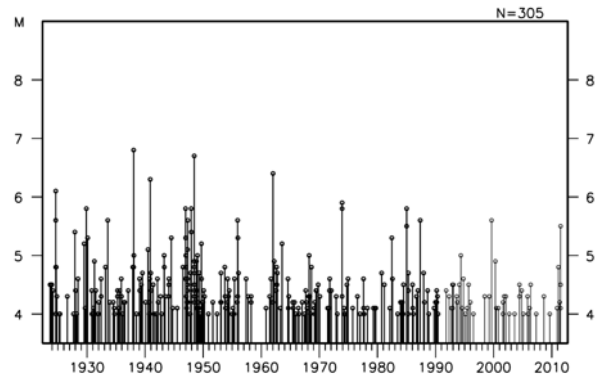


震央分布図 (1923年8月1日~2011年7月6日、
深さ0~90km、 $M \geq 4.0$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

左図領域b内の地震活動経過図

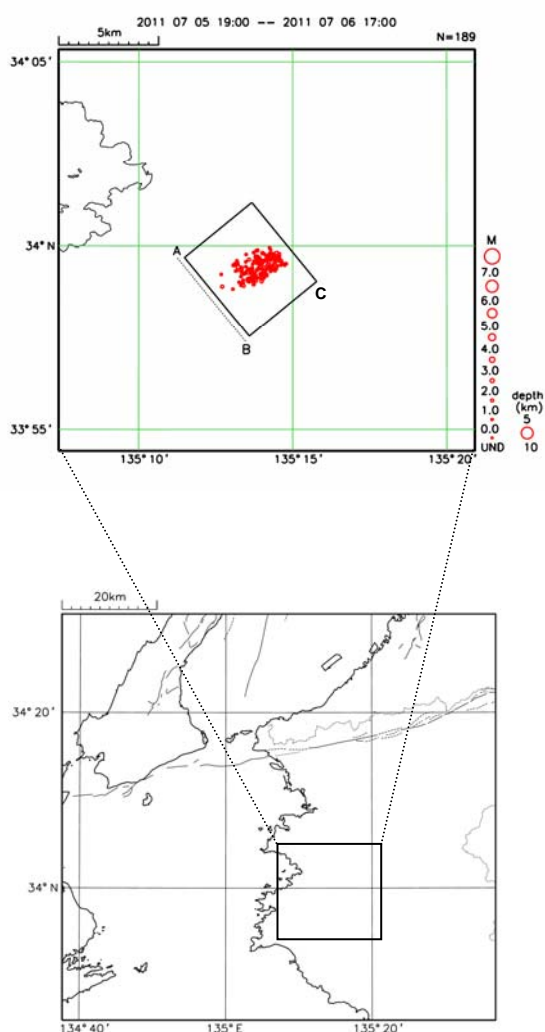


7月5日 和歌山県北部の地震 (波形相関DD法を用いた詳細震源)

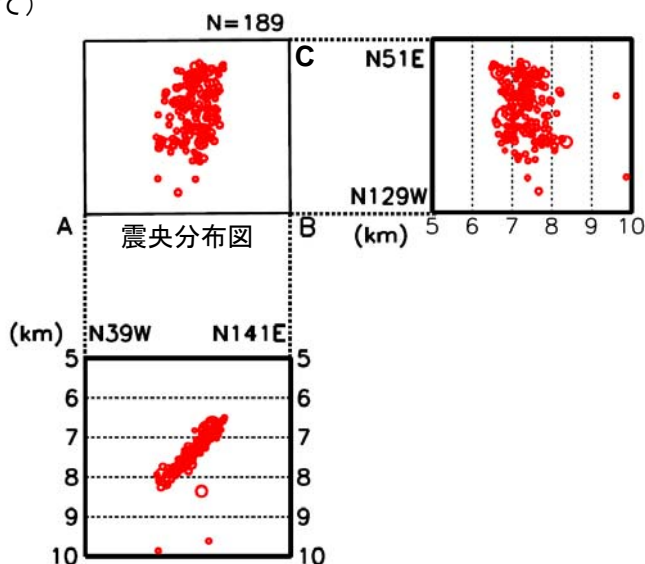
7月5日の和歌山県北部の地震とその余震活動に対して、波形相関DD法による解析を行なった。求められた詳細震源による震央分布図と断面図を下に示す。震央分布図のA-B断面への投影によって、北西下がりの断層面がはっきりと視認できる。

なお、この結果は暫定的なものであり、後日修正される可能性がある。

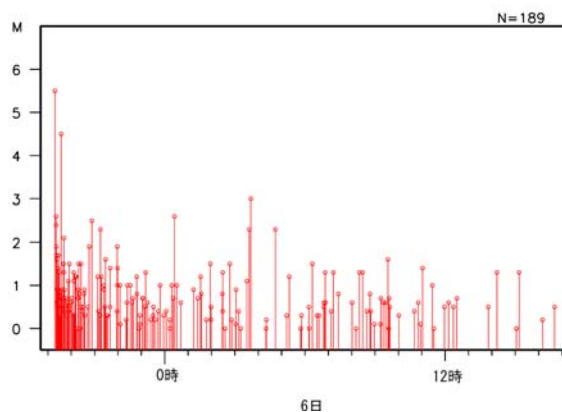
解析に用いた地震の震央分布図
(7月5日19時～7月6日17時、深さ0～10km、Mすべて)



震央分布図とA-B・B-C断面への投影図



解析に用いた地震の活動経過図



この結果は暫定的なものであり、後日修正される可能性がある。

7月7日 ケルマデック諸島の地震

2011年7月7日04時03分、ケルマデック諸島でMw7.6の地震が発生した（震源要素は米国地質調査所、Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）。

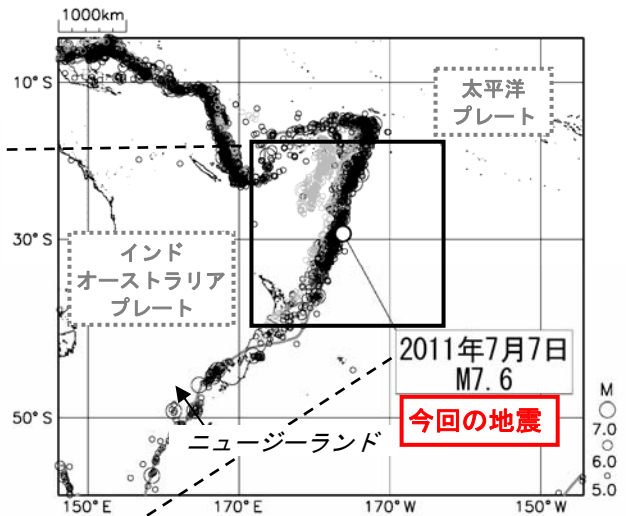
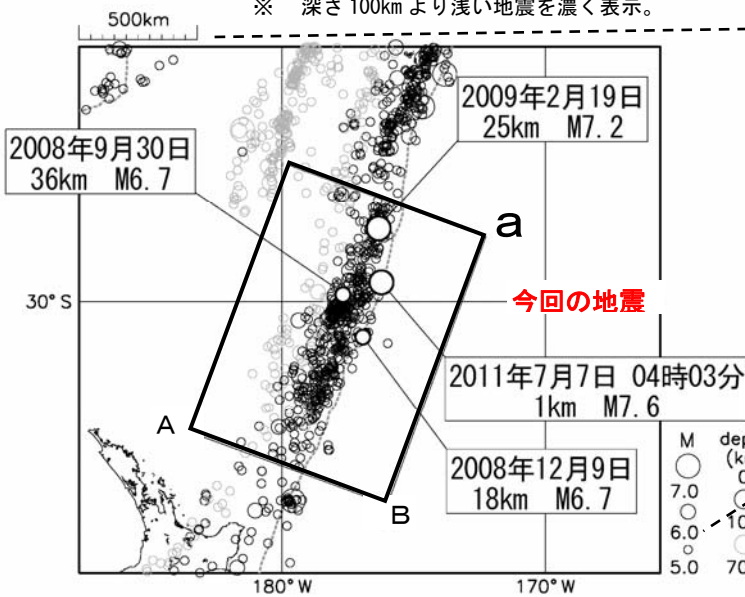
気象庁は、同日04時29分（日本への津波の有無について調査中）と07時44分（日本への津波の影響なし）に遠地地震に関する情報を発表した。太平洋津波警報センター（PTWC）によると、この地震によりケルマデック諸島では高さ約1mの津波が観測された。

ケルマデック諸島周辺（領域a）では、太平洋プレートがインド・オーストラリアプレートの下に沈み込んでいる。今回の地震の発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内で発生したと考えられる。

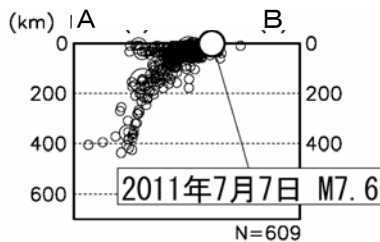
1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺では1986年10月20日にM8.1の地震が発生している。

震央分布図（2000年1月1日～2011年7月7日18時30分、深さ0～700km、M≥5.0）

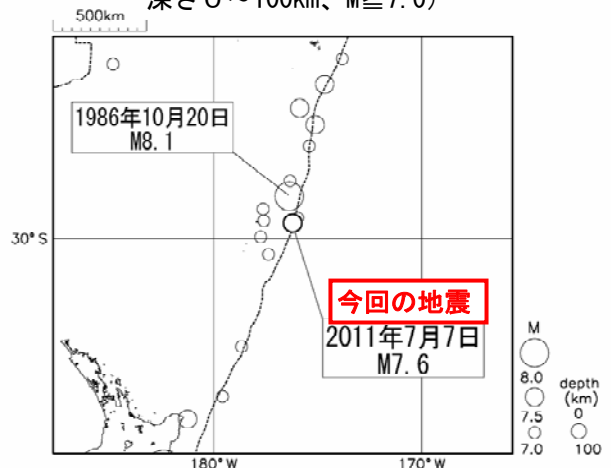
※ 震源データは米国地質調査所による。
 ※ 深さ100kmより浅い地震を濃く表示。



領域aの断面図（A-B投影）



震央分布図（1970年1月1日～2011年7月7日、深さ0～100km、M≥7.0）



今回の地震の発震機構（気象庁 CMT 解）

